

平成15年2月17日

各位

会社名 東京製綱株式会社
代表者 取締役社長 田中 重人
(コト 5981 東証一部)
問合せ先 総務部長 泥谷 正三
(03 - 3211 - 2851)

当社米国子会社ATR社のチャプター11申請と業績予想の修正について

1 ATR社のチャプター11申請について

当社の米国子会社であるATR社は、2月16日連邦破産裁判所に対し、米国連邦破産法第11章（チャプター11）に基づく更生手続きの申請を行いました。これは、同社が米国市場におけるスチールコード事業の競争激化のなかでコストダウンを上回る価格下落に見舞われたため継続的な赤字基調から脱出できず、ここ1年、自立的収益改善、事業提携等抜本策を検討してきましたが、期待する成果が得られなかったため、これ以上の赤字の累積に歯止めをかけるために同社の取締役会が判断したものです。

本件に伴い、当社の業績に与える影響につきましては、既に計上してきた子会社株式評価損を含む損失に対して税効果が適用できることもあり、連結当期利益は7億円程度、単独当期利益は1億円程度の減少に留まる見通しであります。

今後、ATR社はチャプター11に定められた手続きに則り、破産裁判所の公正な監督の下で手続きを進めていくこととなります。当面、同社の生産・販売などの企業活動は従来通り継続される見込みであります。

また、現状のATR社のマネージメント体制は当面継続し、当社としては、今後の推移を見守っていきたいと考えております。

当社は現在Vプランを推進中ではありますが、今回の事業撤退は、当社グループ経営方針に合致しており、今後の連結業績の改善につながるものであります。また、当社の今後のスチールコード事業については、これを契機に、国内拠点の東京製綱スチールコード(株)に経営資源を集中させるとともに、グローバルな視点からスチールコード事業を更に強化していく所存であります

ATRのチャプター11の申請による当社の特別損失の発生と当期利益への影響額は以下の通りです。

(単位；百万円)

	単独	連結
特別損失	3,700	4,300
税効果	3,600	3,600
当期利益影響額	100	700

【 A T R 社の概要】

名称等	名 称：A T R Wire & Cable Co . , Inc. 代表者：G. Michael Bewley 本 社：米国ケンタッキー州ダンビル 1857 South Danville Bypass, Danville, Kentucky 40422-9499 USA		
事業内容	タイヤ用スチールコード、ホース用ワイヤの製造		
設立	1 9 8 1 年 1 月 8 日		
決算期	1 月		
従業員数	約 5 7 0 名		
資本金	83,000千ドル		
発行済株式総数	8,300千株		
株主構成	東京製綱(株) 63.3%、 その他 36.7%		
主要取引銀行	The Bank of Tokyo-Mitsubishi, LTD Mizuho Corporate Bank, LTD Sumitomo Mitui Banking, Corporation		
主要取引先	The Goodyear Tire & Rubber Company Michelin North America, Inc. Continental Tire North America, Inc. Dunlop Tire Corporation Yokohama Tire Corporation Bridgestone / Firestone, Inc.		
最近 3 年間の業績	(千ドル)		
	1999 年	2000 年	2001 年
売上高	86,712	79,399	69,259
営業利益	5,031	4,200	4,279
純利益	1,009	434	7,901
期末総資産	58,582	53,090	47,744
期末株主資本	7,558	7,993	10,091
累積損失	65,441	65,007	72,908
期末負債総額	51,024	45,097	37,653
			(\$/株)
1 株当たり利益	0.13	0.05	0.95
1 株当たり配当金	-	-	-
1 株当たり株主資本	1.03	1.09	1.21

〔 〕 業績予想の修正について

平成14年11月15日に公表致しました単独業績予想並びに連結業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせ致します。

(1) 15年3月期単独通期業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位;百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	48,000	800	1,000
今回修正予想(B)	48,000	1,000	700
増減額(B-A)	-	200	300
増減率(%)	-	25.0%	30.0%
(ご参考) 前期実績(平成14年3月期)	55,278	256	15,359

(2) 15年3月期連結通期業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位;百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	73,000	1,000	1,600
今回修正予想(B)	72,000	1,200	300
増減額(B-A)	1,000	200	1,300
増減率(%)	1.4%	20.0%	81.3%
(ご参考) 前期実績(平成14年3月期)	77,533	1,133	8,150

(3) 修正の理由

上記〔 〕ATR社のチャプター11の申請の他、株式相場低迷からの回復が見込まれないことによる投資有価証券評価損が見込まれること、Vプランの進行による希望退職実施の結果、当初の引当を上回る特別退職金が見込まれること等により業績予想を修正することとなりました。

以上